

神奈川シニア

精力的に組織拡大オルグを実施、田中ひさや候補予定者と遭遇

池嶋真一郎通信員

JAM神奈川シニアクラブは、会員数を千名に拡大する活動方針を6年前に定め、この方針に沿って各単組を現役とともに訪問し、単組内シニアの会設立と未加入単組への加入要請オルグに取り組んでいる。

毎年、数労組にシニアの会への加入要請オルグを行ってきたが、これまで3労組の加盟はあるものの、会員数が減少する組合もあり、なかなか実績が上らず、登録会員800名から増加していません。

今年は、4月17日・火曜日に新田会長、加藤事務局、木原職員と湘南方面を中心に5労組に要請オルグを行った。オルグでは、JAM神奈川シニアへの加入要請とともに、来年の夏に予定される参議院選挙での「田中ひさや」候補予定者に対して、現役の組合員の協力とともに、シニアの会の組織の協力が不可欠なことを説明し、シニア会員の支援要請を行った。

オルグ中のモリタ宮田工業労組で加入要請を行っている所に、「田中ひさや」候補予定者本人が労組を訪問され、ともに「田中ひさや」への支援要請を行った。これからも、現役執行部の協力を得ながら、未加入単組にシニアへの加入要請オルグを実施していく予定である。



モリタ宮田工業労組で田中ひさや候補予定者と